

平成29年度 企画提案型協働事業
関連課事前協議チェックシート

提案者名： 印西防災研究会

提案事業名： 自主防災組織運営の知識の啓蒙・普及事業

関連課等名： 防災課

班等名： 防災班

担当者名： 清田・安達

内線等： 453・454

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1) 市民ニーズについて

- ☒ ① 市民ニーズはある
☐ ② ある程度の市民ニーズはある
☐ ③ どちらかとも言えない
☐ ④ どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
☐ ⑤ 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

当課への出前講座の依頼件数の増加などから、市民の防災意識は高まってきていると思われる。また、共助の要である自主防災組織の活性化は喫緊の課題であることから市民ニーズは高いと言える。

(2) 市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

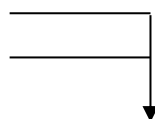
- ☒ ① 整合性がある
☐ ② 整合性がない
☐ ③ どちらともいえない

(具体的理由)

印西市第2次基本計画【平成28～32年度】では、自主防災組織の育成に努め地域防災体制の強化を図るとしており、整合性がある。

(3) 法令上の問題について

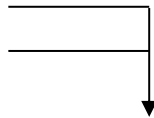
- ☐ 1 法令上、実施できない
☐ 2 部分的に問題あり
☒ ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

(4) 既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
- ② 類似の事業等を実施している
- 3 実施していない



(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

印西市自主防災組織リーダー研修会(1年に一度市内自主防災組織の代表者向けの研修を開催)
防災講演会(9月の防災週間に合わせて一般市民向けの講演会を開催)

(5) 実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかという効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

研修を希望する団体を事前アンケートで抽出し、当該団体に研修を実施することから、一定の効果があると考えられる。

(6) 実施計画、実施方法について

- ① 具体的であり、実現性・実行性は高い
- 2 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

年度当初に市内全自主防災組織にアンケートを送付し現状とニーズを調査する等、計画には具体性があり実現性・実効性は高いと思われる。

(7) 市が行う事業（委託事業等）としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

市においても実施したい事業であり、協働事業として実施できる。

(8) 事業費の積算について

- ① 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- 2 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

(具体的理由)

消耗品費や通信運搬費等の細かな項目についても積算しており、妥当性がある。

(9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

申請団体が独自に作成したマニュアル等の内容について、今後精査が必要。

(10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- ① 是非、取り組みたい
- 2 取り組むことは可能
- 3 どちらかというところ取り組むべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

(具体的理由)

市においても自主防災組織の活動の活性化を図っていきたいと考えているところであり、防災対策を専門としている団体と協働で事業を実施できるのであれば是非取り組んでいきたい。

